

「必佐バイパス」道路工事着工！

「基幹道路の整備を進む！」

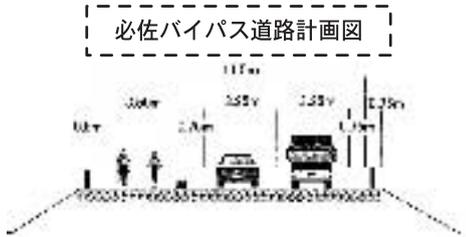
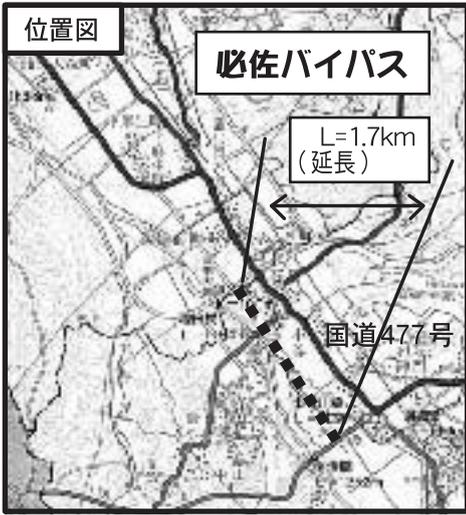
「安全・安心な暮らしをサポート」するため、町では、県に「必佐バイパス」の道路整備を要望してきました。その結果、関係者のご尽力により、三十坪上・三十坪下・増田の各区の地権者から用地提供をいただき、このたび、道路工事が着工されました。

その他にも、県や町の道路事業が着手・計画されています。将来も日野町が、「安心してくらし続けられる町、さらに元氣であたたい町」となる基盤としての道路整備を着実に進めています。

「必佐バイパス」(国道477号緊急地方道路整備事業)の目的と効果

「国道477号」は、必佐地区の三十坪・小谷・石原を通過していますが、特に、石原区では、道路幅員が狭く歩道もありません。また、沿道には家屋も連なっていることから、頻繁な大型トラック等の通行による振動・騒音の問題も発生しており、早期のバイパス整備が望まれました。

このようなことから、町では、県に、その整備を強く要望しています。



たところ、関係各位のご協力により、このたび、工事着工となりました。このバイパス道路は、平成23年3月の工事完了(供用開始)を目指して、工事が順調に進んでいます。

蓮花寺バイパス・その他の県の道路整備も進んでいます

その他、県の道路事業として、「蓮花寺バイパス(県道桜川西中在寺線)」の道路改良事業については、その詳細設計を終え、来年度以降、事業着手に向けて進む予定です。

また、「新名神へのアクセス道路(御代参街道)」についても、昨年6月に、公表された滋賀県の道路整備アクションプログラムに、県道土山蒲生近江八幡線の改良計画として、組み入れられたことから、来年度以降、町としては、その予備調査に向けて、県に要望してまいります。

持続発展可能な町づくりのため、町の基幹道路についても整備を進めています

町では、町の道路事業として「西大路鎌掛線(東部広域農道)」の概略量調査に入りました。

この道路は、西大路と鎌掛とをつなぐ道路で、町の基幹道路としての役割も、期待されています。

また、「野出山本線」については、野出区周辺の西桜谷地区の交通渋滞緩和のために、新たなバイパス道路をつくるもので、このたび、調査設計に入りました。

このように、町では、自律のまちづくり・持続発展可能なまちづくりのために、県の協力も得ながら、町内の基幹道路の整備を着実に進めています。

また、交通安全対策のための歩道設置など、安全・安心の道路整備も、今後、計画してまいります。

お気軽にご相談ください

町内には、町道や県管理の国道や県道、そして、一級河川(日野川など)がたくさんあります。それらの道路や河川につきましてのご相談やご要望は、町にご相談ください。(区長さんが要望をまとめておられる場合は、区長さんを通じてお願いします。)

県に要望しました内容について回答がありましたら、すみやかに返答をさせていただきます。